



代表若林先生のあいさつ

11月15日(日)中央区の老人福祉施設「マイホームはるみ」で、今年度より私ども(東京日本橋RC)が青少年育成の活動の一環として、演奏活動の後援をしている「若い芽の会ジュニアアンサンブル」が老人福祉施設の皆様に演奏を披露しました。今回の演奏は、新世代委員会、社会奉仕委員会の共同で企画され行われた青少年育成および社会奉仕活動です。

「若い芽の会ジュニアアンサンブル」は、小学生から社会人までが参加している弦楽器を中心としたオーケストラです。代表を務める若林暎子先生の日頃の弦楽器の指導と、月に1度の久保田先生のオーケストラ指導を受け、国内の演奏活動、海外の演奏活動、老人ホームへの訪問演奏などの社会貢献および国内外の青少年との交流を深めることを目的として活動しております。

当日は、本田施設長様のご紹介をいただき、若林先生のご挨拶のあと演奏が始まりました。演奏曲は、「カノン」、モーツァルト作といわれている「DUO」、また施設の方々になじみのある「大きな古時計」、「日本の秋の歌メドレー」と続けました。最後に、参加者全員の「ふるさと」の合唱で今回のサロンコンサートが終了しました。子供達の演奏による施設の方々の思い思いの気持ちのこもった「ふるさと」の合唱は、心温まる光景でした。

今後、「若い芽の会」を応援しつつ、彼らの演奏の機会を作りたいと考えております。演奏する側にとっても、自分たちの演奏が感動をよび、それが小さな社会貢献につながることを感じることは大変意義のあることだと思います。



コンサート風景

職場見学会の記

東京日本橋西RC 会長 細谷 義徳

わが東京日本橋西ロータリー・クラブでは、11月25日(水)の例会後、遅れてではあるが、職業奉仕月間にちなんで、職場見学を実施した。

見学先は、会員田村氏のはからいで、同氏が代表取締役を務める(株)総合警備保障の警送国立ビルと東京指令センター。

参加者は会員16名、夫人7名、交換留学生1名、事務局1名の総勢25名で、例会会場のロイヤルパークホテルから貸し切りバスで、最初に、警送国立ビルに到着。同所の事業である警送業務の説明を受け、有志が防弾チョッキを試着したりした後、警送車(要するに現金輸送車)の車内や装備を見せていただき、次いで事業所の現金保管庫や現金の受入、搬出の状況や現金の確認の状況を見学。その後、再度貸し切りバスで高円寺所在の同社東京指令センターに向かった。同センターにおける業務内容の説明を受けた後、契約先や関係施設の異常の有無を100台近いモニター画面で昼夜監視する状況を見学。異常の連絡を受けて現場に向かっても、些細なことや誤警報によることが大半とのことであるが、稀にある深刻な事故に鑑み、迅速誠実な対応が不可欠とのこと。ごもつとも、われわれは、このような縁の下の力持ち的活動のおかげで平穩、安全な日常を謳歌できていることを実感した次第。見学会終了後には懇親夕食会を開催した。



防弾チョッキを試着の留学生ファニー・マルクさん



支社長より説明を受ける

